

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月31日

協議会名:	三好市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>三好市は平成18年に三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村との合併により広域な市となり、病院、商店街、市役所、学校などが集積している池田バスターミナルを中心に路線バス網が広がっている。当地域は、住民の日常生活に必要不可欠な地域であり、移動手段を持たない高齢者、学生等には、路線バスが重要な役割を担っている。</p> <p>当ターミナルへ接続する乗合バス路線は、補助対象地域間幹線3路線、廃止代替路線3路線及び事業者単独運行の箸蔵地区を結ぶ猪ノ鼻線があるが、人口減少と自家用車の普及により利用者は年々減少を続けている。特に、猪ノ鼻線は、運賃収入の減少により地域の支援なしに確保維持することが困難な状況となってきた。</p> <p>このため、平成23年10月1日から新たに地域の支援を受け、地域公共交通確保維持事業により路線の運行を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことを目指す。</p>